

1 1月7日（月）

5年生が、6年生から引き継いで、来年、最高学年としてみんなをリードしていくために、いろいろなところでがんばっています。たとえば、朝の、玄関でのあいさつ当番です。礼は、90度。はっきりとした元気なあいさつをしてもらおうと、恥ずかしがり屋の人も、気持ちよくあいさつできますね。

先週の水曜日、来年、1年生として入学してくる子供たちの健康診断がありました。そこでも、5年生は、子供たちのお世話や、おうちの人へのおもてなしを、協力して行いました。素晴らしいです。

さて、今日は、「名前」の話をしてします。

私の名前は「玲子」と言います。これは、私のおじいちゃんがつけてくれました。

「玲」の字は、大昔に大切にされていた、きれいな石や金属やガラスが触れ合う澄んだ音を意味しているそうです。いつでもきれいに澄んだ心でいてほしいという願いが込められています。時々、名前の文字を書きながら、「大丈夫かな。心は汚れていないかな。」と考えます。

いじめのアンケートでは、呼び捨てをしたり、いやな呼び方で読んだりする人が、小さな学年でもいることが分かりました。願いを込めてつけてもらった大切な名前を、勝手によその人が違うように呼んではいけませんね。

もうひとつ。今日は、ちょっとかわった名前の人を紹介します。

「みぎあるき しずかさん」です。

さあ、いったいどんな人でしょうか。

これから、この人が、みんながもっとよい生活を送れるように、いろいろなアイデアを出してくれます。楽しみにしててください。

